

《新規需要米(飼料米)を取り入れた水田の高度活用プロジェクト》

市町村	天童市	対象地域	天童市高掬地区	分野	土地利用型作物(新規需要米 飼料用米)
実施主体名	押野和幸	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	天童市
実施主体構成					

プロジェクト目標(5年後)	産出額(増加額)	38,200千円(8,300千円)					
	独自の目標項目	水稲作付面積 2,300a → 3,800a(内飼料用米1,000a) 常時雇用 1人→2人 パート1人→2人 (290人日/年 → 580人日/年)					
各年次目標	現 状	1年目(H22)	2年目(H23)	3年目(H24)	4年目(H25)	最終年(H26)	
	産出額	29,900千円	31,560千円	33,220千円	34,880千円	36,540千円	38,200千円
	独自の目標項目	水稲作付面積2,300a 内飼料米 0a	水稲作付面積2,600a 内飼料米 200a	水稲作付面積2,900a 内飼料米 400a	水稲作付面積3,200a 内飼料米 600a	水稲作付面積3,500a 内飼料米 800a	水稲作付面積3,800a 内飼料米 1,000a
プロジェクト概要	◎実施方針	・農家の高齢化が進む中、遊休農地を含む地域水田の受け皿となる地域のモデル経営体を目指す。 ・従来の主食用米の栽培面積の拡大を図るとともに、飼料米の低コスト生産(乾田直播)に取り組む、農地の集積、規模拡大を図る。将来的には地域の畜産農家との連携による循環型農業を目指していく。					
	○産出額の増大	栽培面積(遊休農地の集積による主食用米、飼料米)を拡大することにより、産出額の増加を図る。					
	○雇用の創出	現在、常時雇用・パートは各1人だが、常時雇用・パートを各2人に増加する予定である。 H26:年間雇用創出効果(増加分) 常時雇用1人(250人日/年)、パート1人(40人日/年)をさらに雇用する。(計 290人日/年)					
	○創意工夫	地域での取り組みが2年目となる先進技術であるV溝乾田直播を本格的に導入することで低コストな飼料米生産を行う。また、地元の畜産農家へ籾殻供給とほ場への堆肥還元に取り組んでおり、飼料米生産を契機に、将来的には、稲わらの供給を含めた循環型農業を進めていく。					
	○実現性	飼料会社(肉牛の飼料)との契約が決まっており、安定した生産販売が確立されている。					
	○地域への波及効果	遊休農地や地域での借り受けによる規模拡大を進めているが、飼料米生産を契機に、遊休農地の解消に向けた地域との連携や地域水田の有効活用を積極的に取り組むことで、天童市の稲作経営モデルとしての波及が期待できる。					
	○その他	主食用米について現在インターネットを利用した消費者への直接販売にも一部取組んでおり、今後、直接販売による販路拡大を図っていく。					

事業計画		実施年度(平成22年度)	実施年度(平成23年度)
	事業内容	①コンバイン	②トラクター(作業機付)・籾摺機・計量機